

第3回古賀市自治基本条例策定委員会・感想カード

平成27年3月11日（水）実施

- ◇活発なご意見を聞く事が出来て楽しかった。
- ◇まだまだ話し合いが足りないので、おいおい提案が出来るようになりたいと思います。
- ◇実りある話し合いができました。有難う。
- ◇とても面白かった。若い人たちが、もっと出てくるには、どうすればいいのかな？と思った。
- ◇高齢化が進んでいる。若い人をどうやって古賀市に集めるのか？魅力ある物を作る事が必要である。 お互いにおもいやり、たすけあいが出来る地域作り
- ↓
- 子供の教育 →心ゆたかな子供を地域全体で育てていく。
仕組み作りが重要
- ◇全員一致で安心安全な街づくりに向けて進めていきましょう！！ あいさつをかわして顔見知りをたくさん作る
- ◇今日はとても話しやすい環境でした。知らなかった自然・歴史、市の花（コスモス）などとても新鮮でした。知る・広げる・つなげる 大事ですね。 安心安全な町は重要！！
- ◇古賀っていっぱい特色もあって、いいところもいっぱいあるのですが、いま一歩弱い。 情報が少ないというか、情報の得る方法が少ない。
- ◇自分の住むまちのことを知らなかったことに気付かされた。 いろんな活動をされている方々のお話を聞いて、古賀にこんな所があったのかとか、こんなことに困っているのかと知りました。
- ◇古賀の歴史、風習（地域ごとの）を互いに知らない市民が多いと気付いた。できるだけ、自分のもっている情報を提供したいと思う。
- ◇色々な地域で伝統行事があることを初めて知りました。子ども達に伝えたり、市民にももっと情報公開して、共有したらいいなあーと思いました。伝統行事の公開で心のつながりが広がるといいなあーと思いました。
- ◇人とのつながりが大事ということを知りました。 皆さんの考えがしっかりしていて自分ももっと色々調べて考えていこうと思います。
- ◇今日は、グループワークで色々な話が出来た。一番話の中で盛り上がったのは“つながり”についてで、自分でも色々と考えさせられた。 私自身も、今回、この委員に選ばれなかったら、さまざまな世代と交流する機会が無かったと思うし、みんなに、交流する機会があれば、知り合いも増え、住み良いまちになるだろうと思った。
- ◇自分の住む街に、関心をもっている人がたくさんいたので、びっくりしたと同時に嬉しかったです。人との交流、つながりで、きっとこの古賀を変えてくれるんじゃないかと思います。
- ◇各自、自由に発言されて良かったです。まとめてくれた方々も素晴らしかったです。少し先が見えた感じがします。
- ◇今回は少し内容的にも色々出てきたように思うので、次回までにまた考えてきます。良くなればいいのですが～？！

- ◇お互いに人柄が知れたのは良かった。
- ◇班別に協議をしているが、前の班で意見が反映されていない。
- ◇シャッフルで少しは顔見知りになったが、もっと広められたらよいのだが（どんな人とか解ってくる）。つまり、委員同士のつながりを広めたい。 制定に向けては、なんとなく進んでいくのだなと期待がもてて来た（前回までは、どうなることやらと不安が大きかった）。
- ◇前向きな意見 → 伸ばしていこう
後ろ向きな現状 → どうしたら良くなるだろう。
古賀市の花＝コスモス → コスモス畑がないね。菜の花畑はあるけど…。
- ◇「古賀の魅力」は誰のための魅力？市民？（住みやすさ）、外部の人？（観光）
「開かれた古賀」、情報開示、住民同士のつながり→情報を「知ろう」とする力、情報を「見ようと思わせる」力、つながりとプライバシーの兼ね合い→言うのは簡単だけど結構難しい。
古賀市のまちづくりの方向性はどう決める？条例？総合計画？柔軟性で言えば総合計画だと思うけど、行政が作ると八方美人にならざるをえない。
まちづくりを行政にまかせきりになる「まちづくり条例」ではなく、市民が行う（意識を持つ）条例に！
- ◇私自身もそうでしたが、古賀に住んでいながら、古賀市の事を知る機会がなかった？方が多いと思いました。やはり現在(いま)の私達がしっかり知るようにくふうすることが大切だと思いました。
- ◇古賀市の青少年施策が18歳までなので、文部科学省での青年施策の35歳までにターゲットを設定して、各種の取り組みを少年向け（18歳まで）と青年向け（18～35歳）のようにして青年層のための事業が確保されていたらいいですね。
条例はあったほうがイイネ！とは思いますが、条件整備をしてからみたいの方がよいという気持ちが高まるばかりです。いまのまま作っても実効性が心配です。